







シキキ

70

...





シキキ

...

70



これがマスターのっ…  
こんなすっこのがっ

ゾクッ

ずっ

ずっ

むいっ

たっ

ぶっ

たっ

ふっ

たっ

はっ！いけません!!  
これはあくまでマスターが  
節度を守るようにするための  
いわば緊急処置なのですからっ…



こうして唾液を垂らして  
そして扱しこけば良いのですよね？

いきますよ？

はっ  
はっ

んん

ぎゅん

むいっ

んっ…

んん

んん





すごい：  
雄々しくって大きくなって：  
それになぜでしょうか：  
歴戦の戦士のような風格まであるような：  
いけないのに：  
なんだか滾<sup>たぎ</sup>って：  
このままだと  
まずい気がするようないような

射精<sup>で</sup>しそうなんですか？  
ええどうぞ？

あっ...♡

ソクッ

グ  
チ  
ユ

せいの

グ  
チ  
ユ





...

っ!!はいっ?!  
なんででしょう!?  
いえっ!  
巴は何もやましいことなど  
考えてなどおりません!!

...それでマスターは...

スッキリできましたか?  
節度は...守れそうですか?

コソコソ

ムラッ

♡

フー

ビュ

んっ

ムク



いけませんマスターっ

手でシたでしよう？  
これ以上は…

それに巴には…

えっ？  
わかってているけどそれでも  
一度きりでいいから  
私との最後の思い出が欲しい…ですか？

ソクソク  
…やっぱりマスターの…すごい…  
大きいのは分かっていましたが  
こうしてみるとなんだかずっしりして…  
熱くってそれに…  
たくましい…

ソクソク



…でしたら…  
挿入れたなら…  
満足できますか？

…一度きりっ  
一度きりを守れるならっ  
それとゴムもっ

…分かりました…  
今回だけ…ですよ…

今回だけ…  
今回だけなんです…  
色々苦しんでいるマスターのため…  
だから…

キッ  
キッ  
キッ

??  
ッ

ク  
ク  
ク

う  
す  
い



!?

あつこれつだめつ  
知つたらだめなつ

まだ挿入<sup>はい</sup>つただけなのにつ  
届いたことないところまでつ

ひっ

やっ

ゾッ

ぐ  
ちゅ  
ちゅ

きゅん

マスターっ!!

まっ  
待ってくださいっ!!





なんでっこの人っ  
こんなになっ

私女の弱いところっ

これっだめっ!!

ビクッ

ムッ

あ

あ

あ

あ

あ

あ







はあはあ  
これで：  
もう大丈夫ですよね？  
マスター？

…そうですか  
いえ  
こちらこそごめんなさい  
マスターの気持ちに  
応えることができません…

大丈夫…大丈夫です…  
知ってしまったても…  
巴は絶対に…  
大丈夫です…





ソクソク

はは

義仲様…  
義仲様…

いけません…  
こんな…  
淫らな…

義仲様…

でもっ！

義仲様っ  
マスターっ  
マスターっ

あっ♡

イっくっ♡  
イっくっ♡  
イっくっ♡

いほ

ぐちゅっ

ぐちゅっ

か

か



ママ  
マスター  
♡♡♡

まんっ♡  
またイクっ♡♡♡

足りないもっとな  
あの時みたいになっ!!

マスターっ  
義仲様っ





ん…だめ…  
こんなところで…

…はい♡  
言われたとおりしばらく  
巴さんの部屋の様子を伺ってました♡  
暇さえあれば一人でずっと…♡

最近はもう  
マスターのことばかり  
考えてシてるみたいですよ♡

まあ結構  
合間合間に  
ゲームしてました  
けど…

ふふ

はあ

はあ

ぐい

え？今度巴さんを部屋マイルームに呼ぶから？  
ふふ…わかりました♡

お手伝いしますね♡♡♡









あ

ん

あ

ん

あ

...

ん

あ

ん

ん

ん

ん

か

ん



良殿……っ  
これは一体……っ!?

ふふっ♡

私はただマスターに犯して  
頂いていただけですよ♡  
巴さん♡

そしてあなたも……  
だからここに来たんでしょう？  
ほら？  
ここはこんなにぐちよぐちよ♡

ああ大丈夫ですよ？  
マスターは絶倫ですから♡  
私達二人共ちやーんと  
平等に犯してくれませす♡

ドキ

んん

はーい

ぞぞ

ぐちゅ

ぐちゅ



やっ  
やめてくださいっ!!  
こんなっ!!

安心してください  
私達もみんな初めは  
抵抗ありましたが  
すぐに慣れますから

それにもう辛いでしょう?  
私も女ですからわかるんです  
アレ  
もう知っちゃったんですよ?  
じゃあ仕方ないじゃないですか  
女なんですから  
本能なんですから

：それにマスターのこと  
憎からず想っているんでしょう?  
私達はみんなそうなんです  
それにマスターが身体だけじゃない  
本当に私達を想ってくださっているのは  
分かっていてるでしょう?

私達ちは影法師なんですから  
今だけは……いいじゃないですか

ああ それと

ガバッ







ゴ<sup>な</sup>ム<sup>ま</sup>なしは  
す<sup>ま</sup>ごい<sup>ま</sup>ですよ♡  
それ<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>：<sup>ま</sup>：<sup>ま</sup>：  
後<sup>ま</sup>ろ<sup>ま</sup>め<sup>ま</sup>たい<sup>ま</sup>んだ<sup>ま</sup>たら  
外<sup>ま</sup>に出<sup>ま</sup>して  
もら<sup>ま</sup>え<sup>ま</sup>ば<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>んです♡

…ふふっ♡  
こ<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>は  
正<sup>ま</sup>直<sup>ま</sup>です<sup>ま</sup>よ？♡

だ<sup>ま</sup>っ<sup>ま</sup>たら<sup>ま</sup>…<sup>ま</sup>マ<sup>ま</sup>ス<sup>ま</sup>ター<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>…  
お<sup>ま</sup>願<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>…<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>ない<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>です<sup>ま</sup>よ<sup>ま</sup>ね？

し<sup>ま</sup>ち<sup>ま</sup>+

し<sup>ま</sup>ち<sup>ま</sup>+

し<sup>ま</sup>ち<sup>ま</sup>+



ほら？  
言えますよね？♡

そう……これっきり……  
良殿リヤンの言うように  
自らで慰めるのにも限界だったのは確か……  
戦闘に支障をきたしてもいけませんし……  
だから……!!

ドキ  
うっ……

マスター……その……  
以前に言ったことを  
違えてしまうのですけど……

でもっ……!!

これっっきり!!  
これっっきり!!  
ですのっ……  
その……

巴なを抱いていただけたく……  
できれば……ゴムはせず……  
でも外なにっ!!  
腔内なではなく  
射精は外なにお願いしたく……

はあ  
はあ

キュン

くほっ





はっ  
♡

はっ  
♡

はっ  
♡

っ  
♡

マ  
ス  
タ  
ー  
の  
っ  
♡  
♡  
♡

ギ  
ッ

ギ  
ッ



っ♡♡♡♡?!  
♡

あっ

あっ

!!!

!?

はっ

ゴムがないだけなのに  
なんでこんな  
満たされてっ♡

これっ♡  
後戻りできないっ♡

私っ♡  
ああっ♡♡♡♡

ぐちゅ





だめっ♡  
私の靈基からだ  
馴染んで……っ  
この人の専用かたちに……っ♡

前よりも……っ  
なんでっ  
ゴムがないだけなのにっ  
よりマスターを感じてっ

ド  
モ

がっ

っ

がっ

ド  
チュ

がっ  
チュ









あ……  
マスターの子種が  
膣外に……

もっ……たいない……

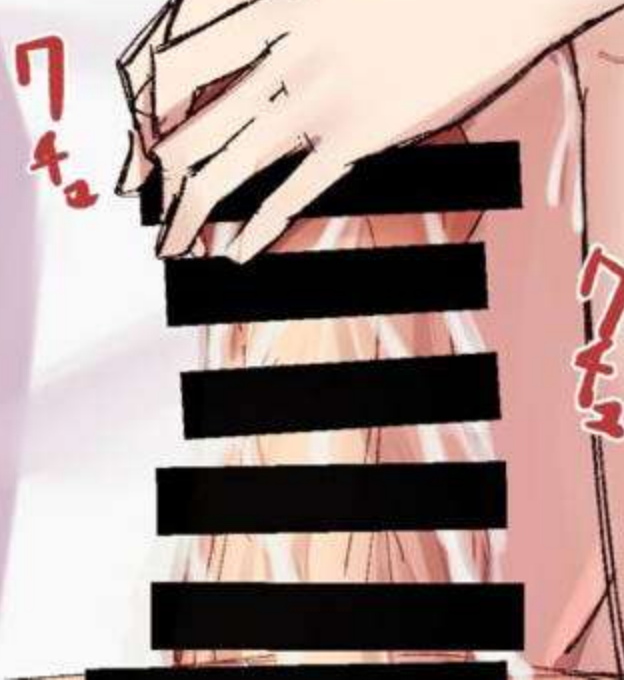




それじゃあ  
もう巴さんは満足でしょうから  
後は私です♡

…ふふっ  
やっぱり素敵です♡  
女二人を相手にしてるのに  
まだこんな♡

ええもちろん♡  
ぜひ思いっきり腔内に♡







っ…!!

今ならわかる…  
避妊具のない肉棒を  
理解<sup>知った</sup>した今なら…  
今どれほど  
良殿<sup>りゃん</sup>が幸福なのかを…  
…でもっ!  
マスターに抱かれるのは  
先程が最後…  
そう決めたはずでしょう…巴っ

はっ  
はっ

はっ

はっ

はっ

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん





りゃん  
良殿っ…  
これではまるで  
獣のような…  
私が部屋に入ったときに  
シていたときはまるで…

…コレが…  
マスターの本気の…

…私もっ…





あれは私のっ…  
 私を…私を好いてると  
 マスターは言ってるっ…  
 なのにつ  
 そうだ…  
 サーヴァントならば  
 マスターに応えなければ…  
 サーヴァントは妊娠はしないのです…  
 なら…

…ズルい

っ！  
 マスターの射精…  
 本気の…っ  
 私も女だからわかる…  
 この男性ひとのそれは…  
 きつと至福のっ…



ズルい

ズルい

あーっ  
 おっ  
 おっ  
 おっ

あっ  
 おっ

おっ

おっ  
 おっ



④  
アレだけの  
種付け  
射精の後なのに……っ  
萎えるどころか  
むしろ……っ

なんて雄々しくってっ  
一人の雌おんなとして……  
本能でわかってしまうっ  
こんな魅力的な雄ひとは初めて……





マッ  
マスターっ

まだ  
こんな状態では  
お辛いでしょうっ  
とっ巴はっ  
考え直しましたっ

サーヴァントである以上  
マスターに應えるは必定っ

子宮っ  
いいですからっ

はーっ

はーっ

はーっ

はっ  
スリ  
スリ  
ギ  
だらー  
はっ

ガ  
バー  
ン

ぐ  
ぐ  
ぐ  
ぐ  
ぐ  
ぐ

ガ

び





そうっ  
これはサーヴァントである以上  
仕方のないことなのですっ

そうっ  
魔力供給なんですっ

決して裏切り浮気などではっ

はっ

はっ

スリ

はっ

スリ

はっ  
はっ

はっ  
はっ

はっ





…もういいんだ巴さん

ア

まあコレはさ  
他の誰かにお願いして  
何とかするからさ

ゴタッ

巴さんにこれ以上  
無理してもらうなんて  
申し訳ないし

ごめんね

巴さんあんまりに  
可愛い女の子だから  
つい暴走しちゃったんだ  
それに…

これ以上は  
義仲さんにも悪いしね？

むっ



は、

は、

かわっ!?  
いやそれよりっ

どっどっして今  
義仲様のことっ

どうしてマスターっ  
今そんな  
気遣うようなことっ

しかもそんな誠実な目でっ

ああっ!  
あああっ!!

どうして私をっ!  
女私なら目の前にいるのになっ!  
私をっ!  
抱い……

スィッ

っ!

ああ……ごめんなさい……  
巴は……私は……♡



…マスターっ♡

お許しください  
もう意地ははりません  
認めますっ♡

巴に…っ♡  
あなたの巴を♡  
可愛<sup>抱</sup>がってくださませ♡

あなたが望むならどこでだって  
どこを使っても  
どんなことでも  
あなたに愛されるためならなんだっっ

お慕いしております♡  
愛しております♡  
ですから♡

貴方様に刻みつけてほしいのです♡  
すべてを捧げるその証を♡♡♡

フーッ♡  
フーッ♡

パガッ

ぐちゃっ♡





マスター  
旦那様っ…

その未だ猛々しい肉棒を…  
是非この巴に…っ♡

どのように使っていただいても  
構いませんっ♡♡♡  
何卒…っ♡

あなただけの  
女であることをつ♡

徹底的に  
この靈基にっ♡♡♡  
刻んでっ♡

ドキ  
ドキ

はっ  
はっ

っ♡



…本当にいいの？  
巴さん

俺もそろそろ歯止めが  
効かなくなってきたから…

さっきみたいになんか半分しか挿入れずに  
女のひとの弱いところとか  
子宮とかをわざと外して  
手加減してあげられないよ？

…っ♡  
はいっ♡♡♡♡

してくださいますっ♡  
もうだめですから♡  
巴はすでに♡

わかっていゝのです♡  
この先は進んではいけないうって  
この先は地獄だっ♡

でも…  
もうよいのです♡









…っ!!!

あっ…!!!  
あああああっ

ああっ  
これっ  
すごっ

しきゅうっ  
潰れっ

腰がっ  
とけるっ

旦那様っ  
すきっ

イグっ

からだ  
子宮がっ

旦那様のことっすきっ  
愛してるっ

旦那様のものに  
なれっ

イグっ

ドチユッ

ドチユッ  
ドチユッ

















ふふっ♡

私が気を失っている間に…♡  
巴さん…♡  
やっぱり♡  
望ちっちゃった♡  
負けちやっただんですね♡♡♡♡

とても幸せそう…♡

これで巴さんの  
頭の中は  
もうマスターのことで  
いっぱいだと思います…♡  
私もそうですから♡♡♡♡













はい♡  
お掃除終わりましたよ♡  
マスター♡

ところで巴さんは  
気持ちよかったですか？  
ふふっそうですか♡  
それは良かったです♡

えっ？  
私も気持ちよかった  
…ですか？  
…っ♡♡♡  
とても嬉しいです♡  
マスター♡♡♡

ところで…今日はもう  
お休みになられますか？  
でしたらマスターが  
お眠りになるまで寝物語に  
少しお話ししましょう？  
次のこともお話ししておきたいですし♡



マスター♡

此度の戦も巴はマスターのため…  
たくさん…たくさん…  
えねみーほふ  
敵を屠りました♡

ですので…ぜひ巴に  
褒賞を賜りたく…♡





ううっ♡♡  
マスター？

まだ…挿入<sup>いれ</sup>しては  
だめでございますようか

寸分の先にマスターの  
あるというのに…  
こすりつけるだけだなんて…  
巴は…





お願い致します  
もう張り型などでは  
到底満足できなくてっ…

マスターじゃないと…  
マスターに愛していただけないと…

よろしいのですか!?!  
ありがとうございます!!

はいっ  
はいっ

ちゅっ

ちゅっ







っ♡  
んあっ♡  
ああっ♡  
♡♡♡♡

はいっ♡  
マスターごめんなさいっ  
自分だけ気持ちよくなっ  
てっでもっ

これっ  
気持ち良すぎっ  
腰に力がっ♡

はよ♡  
けよ♡

ゴクッ♡

えっ？

マスター  
おしおき？主君を差し置いて  
一人で気持ちよくなっちやだめ？  
からだ  
一度しっかり靈基に叩き込む…ですか？

それはいつたいっ…



あゝ

ますだーっ  
だめえっ  
のスポット  
そごっごりごりごりっしてしないでっ

きもちよすぎるんですっ!!  
イッてるのにおりてこれないんですっ!!

あゝ

ん  
チユッ

ん  
チユッ

前みたいに優しく  
奥とんとんしてっ

あだまこわれるっ

イグっ  
イグっ  
♡♡♡  
♡♡♡

あゝ

あゝ

ん  
チユッ





これがおしおきっ!?

おかし

お、い

これっ♡  
このセックスっ♡  
快楽がつよすぎるっ♡♡♡♡

お、い

快感が叩きつけられるみたいっ♡

お、い

ん、あ、い

ん、あ、い



だめっ♡  
逆らえないっ♡  
上下関係叩き込まれるっ♡♡♡♡

あ、い

ん、あ、い





ニッ  
ニッ

ニッ  
ニッ

ニッ  
ニッ



ニッ  
ニッ

ニッ  
ニッ







はあはあ♡

マスターっ♡

ありがとうございますっ♡

巴教育を許してくださいっ♡

精液：

膣なか内にほしかった：

マスターの精子に  
私の卵子食い荒らしてほしかった：

でも：

マスターの精液の臭いやっぱりすごい…♡  
こんなものにマーキングされたら…♡  
♡♡♡

霊基いでんしから恋してしまうに決まって…♡  
♡♡♡





先程まであんなに  
すごかったのに…  
まだあんな雄々しくって…  
他の殿方じゃとても…

それに…  
こうして改めて  
突き付けられて見ると…  
マスターの…  
やっぱりかっこいいっ…

はっ

はっ

はっ





は、

マスター？  
今日は膣内には…

え？

『今日はお預け』…？  
『また何かちゃんと言おう事  
聞けなかったらお仕置きだよ？』  
…でございませうか？

は、

は、

っ♡♡♡♡♡

…なんでもいたします♡  
巴はあなたのためならば♡  
なんだっていたします♡  
マスターが望むのなら  
何者が敵だっえねみて  
この手でもっともっ♡と…♡

ですから…  
ちゃんとできたなら…  
ご褒美…約束ですよ？♡

キョーン

うず  
うず

















































































































































































































































